

書籍のご案内

チンドン屋は、お宅の方だ。

少年よ、老人よ。文化の扉を叩くがよい。

令和 4 年 1 月 31 日頃より、アマゾンにて販売予定。

『日本文化原論 永続思想 主体性学 一卷』

真なる調和への道 七色の虹の架け橋

(著 横山俊一) 定価 1,880 円 (税抜)



ご挨拶

1) 永続思想と主体性学

1-1 静態的観念集約

台風で道路が雨で沸き住居の中に浸水し生命財産を脅かす自然災害が発生する。下水道が整備され瞬く間に水が引き平常な暮らしを取り戻す。普段あまり気にならなかった下水道の有難味を実感する。非常事態に対面し事後的な対処が求められると共に過去の体験と蓄積から事前的な構えが整備され、悪しき事象を予防する発想と具体策が投げられる。予期せぬ事態に遭遇し慌てふためき精神混乱と態度を乱し二次三次の人的災害を広げる醜態を生む。普段の習慣に良好な感性と観念と身体の相関を持つ活動法則が稼働し、悪しき現象と良き現象と両面の因果という観点を有し思考と行為を重ね、対処に偏せず予防を講じ緊急事態を防ぐ創造を生む。良好な習慣と定型された原理を引き出し中長期的な基準と浸透し変わりづらい人間と活動の原理を生む。「定常と非定常と緊急、抽象と準抽象と具象」という横と縦の観点と動静の回る規則性に体系化される。根本的な生命観や人間像や社会や生態の仕組み長期様式と文化観の導出や認識が定まる。

静的 動的	緊急	正常			緊急
		非定常	定常	非定常	
抽象					
準抽象					
具象					

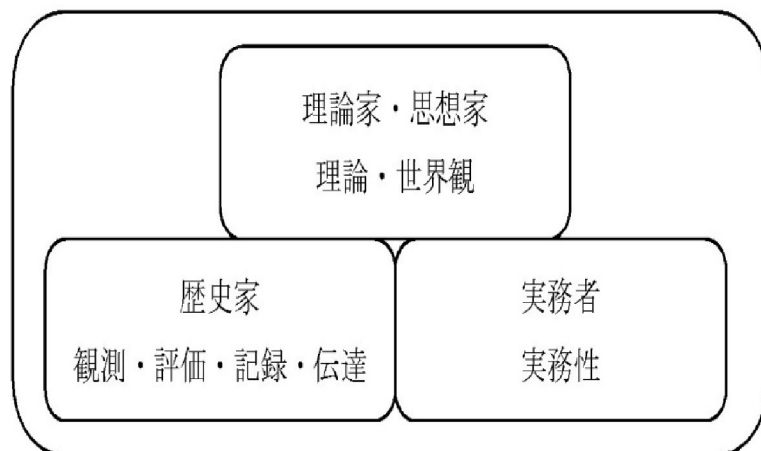
1-2 動態的過程

「軍事的な力と暴走を招く原因はどのようなにあるのか。」ガツガツの激しい子供の性格が大きな力を持つと歪な空間性を招く。単細胞の変数と快不快や善悪美醜の二極的な観点と判断を強めた評価性と急激な行為性を招く弊害が出現

する。短要素と量や規模の力に依存し自存と成長を求める性格が作られる。健全な感性と成熟を有する大人に及ぶ成長過程を得て、良好な人格と技術の均衡する長期法則を生む。金や権力を得るまでに適当な工程が得られずに、必要な工程を省き妙に大きな力や権限を得て外界へ負の影響を広げる。対象の広がりに応じ必要な観点と相関の領域観を作り、短絡的粗雑な短期効用を求める事の無き領域観の導出と稼働の創造習慣を生む。どのような対象や段階にも同一根本性の観点を備え変わりづらい根本原理を基礎に持って対象に相応する概念導出と分化と統合の制御を生む。

1-3 理論実務歴史（ 静態・動態・動静 ）

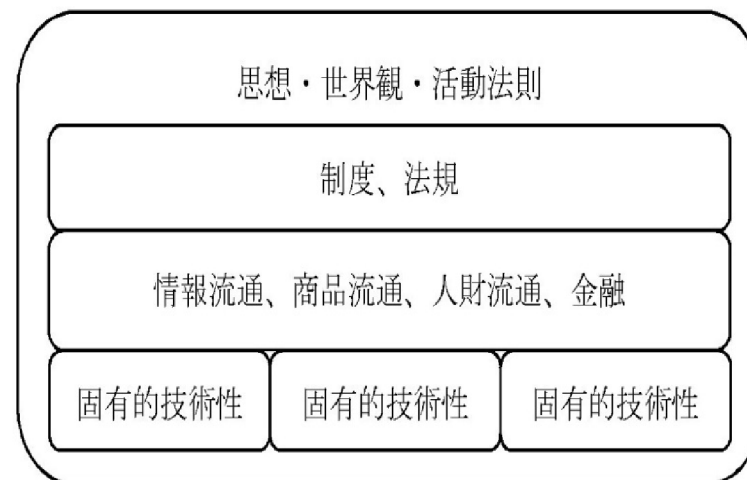
良い所どりのつまみ食いが広がると健全な常識が狂いその場限りの利己的な感性の不良と負の循環を深め広げる。根源の狂いと全体観の歪性と個別特定現象の性格を生む。搾取性と犯罪性や災害性の現象を生む。何を選択し何を報じるか。良好な世界観を基に実務の稼働と対象の序列と評価と伝達という情報集計と発信の作用に適正があつて健全な人間と社会の血流が促進される。



1-4 具体の展開（ 資源や技術と思想世界観 ）

情報という資源に留まらず「商品流通、人財流通、金融」などという各種資源流通や「制度や法規の形成」を担う領域においてどのような領域観や思想世界観が備わるか。この適正を問い適正に相応する技術や力を与える仕組みが進む。

思想や世界観自体も付加価値性の産物となり二次三次の付加価値を規定する。妙な盗み症が権力や財力を持つと良い循環を妨げる。



1-5 普遍的不変の原理性の導出と集約

「成長過程の適正」「主体性や領域性の基礎基盤原理」等という見解の集約が求められる。この適正に相応し権限や責任の均衡を求める長期法則が稼働する。個別現象と抽象原理と普遍的不変の観点と相関の回る活動法則をもって良好な言葉や概念、自己自体を含む主体性や領域観や世界観の形成と運用の習慣を有する人間と生態を産む。大方、同一的な見解を集約する事が求められる。憲法等という主体性の静態的原理と成長過程や習慣性の適正観を加えた同一見解にあつて確実性の高まる人間と生態の健全と永續の動静を遂げる。釈迦に説法と存じます。このように諸先輩方から教えられました。少々のお話をどうかお許しください。

文化慣習

1) 縁起物制作と思想形成

幼少の頃より縁起物制作と販売に従事し民間の会社に約 8 年間勤務し文化論の執筆を始めて約 10 年が経ちました。「家内安全と商売繁盛と健康長寿」という基本祈願に対しこれを遂げる方法的な思索と施策が続き、表現にも生命観らしき性質が形成され広くご案内してもよろしい段階に到達したかの認識が起きます。哲学文化論を学校教育の科目構成へ及ぼせる働きかけをしている中にあります。確たる領域観と稼働と実践力を太めたく日々執筆が続けられます。2014 年 5 月発行の「日本文化原論 真なる調和への道 神からのブラボォー」から改善を重ね本書の形成に至ります。多くの人々から良い力を賜り衷心より感謝申し上げます。

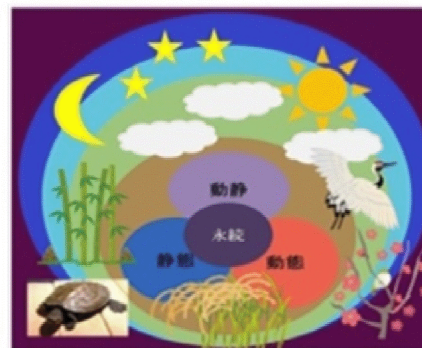
1-1 因縁生起

1. 吉凶の前触れ。兆し。前兆。「縁起がよい」2. 物事の起こり。起源や由来。3. 社寺・宝物などの起源・沿革や由来。また、それを記した書画の類。「信貴山(しぎさん)縁起絵巻」4. 仏語。因縁によって万物が生じ起こること。出典：デジタル大辞泉(小学館)

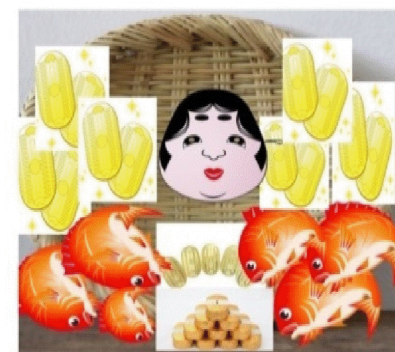


2) 定番と変則

飾り熊手は「家内安全・商売繁盛・健康長寿」を祈願し購入される縁起物となります。どのような部材をどのように配置し一つの世界を表すか。祈願を遂げる方法を構想し一纏まりの形へ具象化されます。個々の施策や施策の蓄積から定番が産まれる。短調なマンネリを回避するのに衝動的な色合いを刺激し変則形を作り緊張と緩和の周期をもつて長らく良好な人間と生態を遂げる。いつの間にか変則が主流になり強い刺激で需要を集める供給が高まると定番を喪失し熊手自体の生命力が瘠せる。外界の短期的欲求を満たす要望に従属した形に下落する。外界の要望に偏った需給構造が進み自己の側の価値観が弱まり需要に振り回され内包性を失い領域の衰退を招く。出来る限り定番を守る意識が存続し定番を引き立たせる変則との相関を生む。根源には真の良質を求める感性が宿り全体と特定の構図を生む。縁起物制作という領域も他領域からの影響を多分に受け本来的な中枢が壊れつつある。自領域に留まらず他領域への働きかけが求められる。江戸時代から続く酉の市と縁起物という日本の長期様式の原理が産みだされる。感性や精神が思想を産み外形的な姿に現れる。間接的な領域へ対し根源的な面から適正を遂げる力を生む。祈願性に対し飾り物というハード上の効果性のギャップが生まれる。ギャップを縮める発想から思索が重ねられる。祈願を遂げる思想や世界観の探究と導出という力が産まれる。



定番熊手



変則熊手

3)神棚と鏡

父や祖父の代から家には神棚と仏様を備え私も自然に習慣が継がれた。神棚には鏡が配置される。鏡に「自己の顔を映し自己自体を問いなさい」等という暗黙的な指令に伝わる。なるほどそうかとも感じ取られる。しかし、宗教を主導する立場においては鏡の中味を示す事に適正がある様に感じられる。意図する人間像や世界観を導出し自他との共感を促進させる普遍的不変の構図を集約し表す感性と作為にあって堂々とした生命を作る姿が進む。自己と外界を含む世界のあるべき姿を描き自他という特定領域を生む事について普遍的な不変の観念と特定観の性格と配置を付け自他の客観的な観測や評価と作為に連なる。自他の特徴を含む全体像を導出し自他との良好な同一基盤的全体性の概念と各種特定観の認識が進み健全な創造性と社会性と生態の軌道を生む。自己の現況性を掴みつつあるべき全体の方角感を得て、反省と課題の抽出と改善の施策を引き出す鏡の中味を明示することに、思想家や理論家の主要な役割を生む。「鏡を置いて自己を問え」という態度に留まると、どこか傲慢の心象を生む。人間と生態の良性と永続という万人的な集約理念とそれを遂げる方法論を探究し一目で伝わるように簡潔に纏め参拝者に提起し良ければリピートという再生産が続く。主導的な立場を望む場合に共通する基本作法が投じられる。立憲主義なる概念に通じるように思われる。主導性と検証性と改善の熱意の存続する習慣に至って健全な感性と生命観が出現する。怠慢と傲慢の強まる寡占という非人間性に陥らぬ健全な様式が整備される。建造物等のハード性に偏り権威付けを求める割合の増す事の無いソフト性に重心を備え適当な割合感を持って心身と生命の健全性を存続させる永続思想が実践される。

(著者履歴紹介 p483)

日本文化原論 永続思想 主体性学 全容

1)永続思想と主体性学

人間と生態の健全と永続という万人集約性の理念の導出と実践を図る思想体系を産む。主体性原理と具象化し精査する。変らぬ土台的基础と全体性を支配する。

動的 特定領域性 ・ 日本文化 ・ 他の文化	静的	永続思想 主体性学
		動静 真なる調和性 七色の虹の架け橋

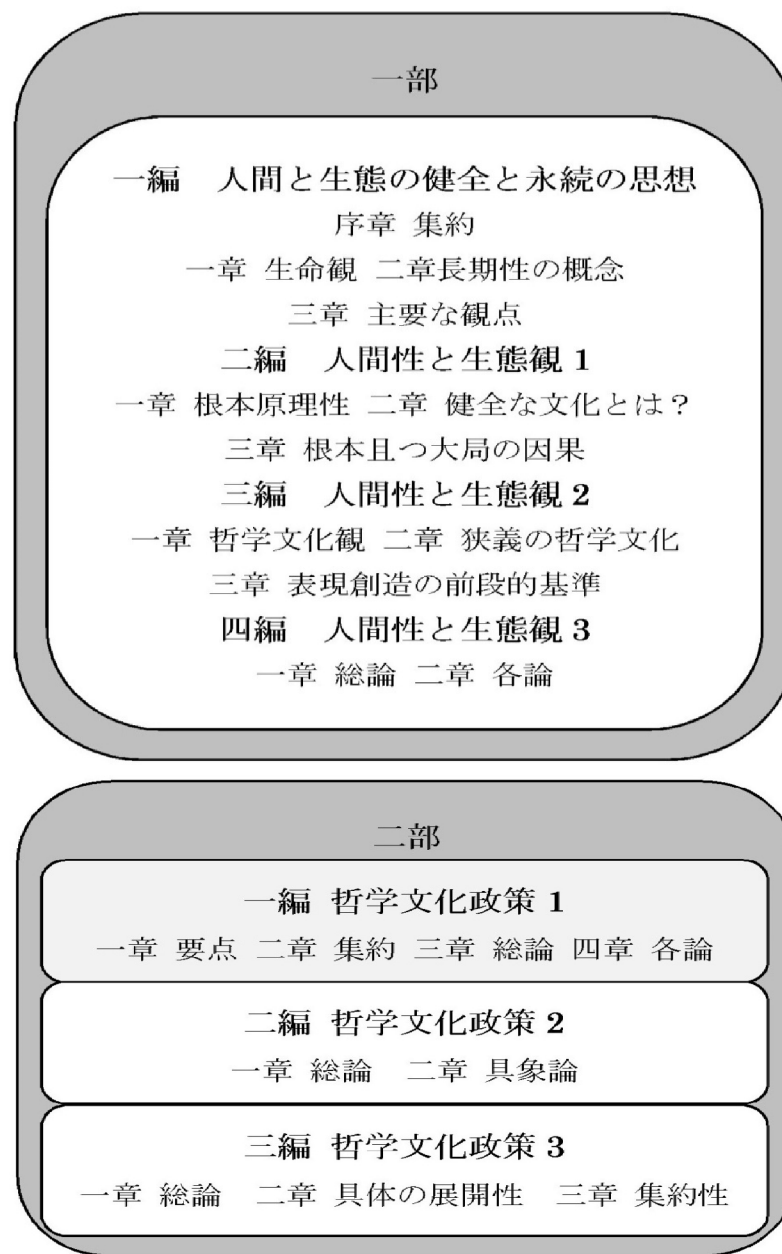
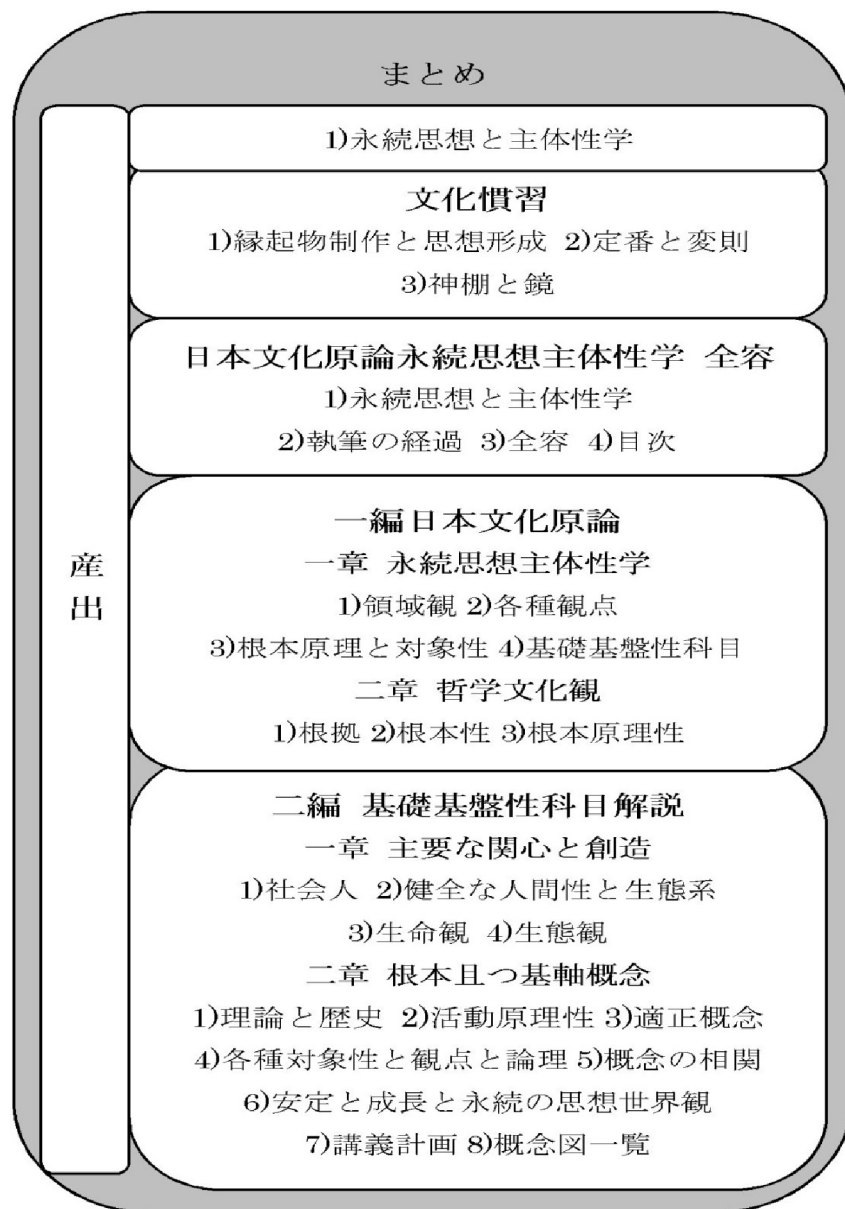
2)執筆過程と産出性

文章執筆は後半から前半へ向けて思索と施策と改善を重ね更新が成されます。前半部分へ行くほどに最新の基準概念が形成されます。「まとめ」に集約されます。

一 巻	まとめ	令和3年12月	二 巻	九部	
	一部			十部	
	二部			十一部	
	三部			十二部	
	四部			十三部	
	五部		三 巻	十四部	
	六部			十五部	
	七部			十六部	
	八部			十七部	
				十八部	
				十九部	令和3年6月頃

一卷
A5 504 ページ 196.346 文字程
白黒 438p カラー 66p

3)全体構成図



三部

一編 要約『日本文化原論永続思想主体性学』

一章 根本原理性 二章 総論 三章各論

二編 原理の確立と実践

一章 主体性と領域性の一般原理

二章 哲学文化政策実践例

四部

一編 要点 日本文化原論 永続思想

一章 哲学文化政策概略

二章 具体の施策

二編 哲学文化観

一章 抽象原理性 二章 具象的観点

三編 主要産出成果物

一章 概念

1)背景

2)概念図

二章 科目構成

1)根本的観点

2)創造力の包括観と主体性像

3)授業概要 4)授業計画

五部

一編 初動と普遍と不変の基準性

二編 要旨 三編 文化人への道

六部

一編 根本性 二編 各論

七部

一編 基本趣旨 二編 伝統文化

三編 永続思想と主体性学

四編 生の健全性と永続性

八部

一編 普遍的不変性の探究 二編 生態原理 1

三編 生態原理 2 四編 生態原理 3

図表

著者履歴紹介

あとがき

<ウェブ上の活動記録>

ワードプレス <https://syunichiyokoyama2013.wordpress.com/>

ツイッター https://twitter.com/bisui_nihon

フェイスブック <https://www.facebook.com/bisui.shobo/>

はてなブログ <http://bisuinihon.hatenablog.com/>

プロフィール

幼少の頃より縁起物制作と販売に約 35 年間従事し、その間に会社勤務を 8 年間程経ながら、平成 14 年(2008 年)1 月に縁起物制作を専業にして約 10 年経過し、平成 23 年(2011 年)12 月頃から文化論の執筆が習慣となりました。平成 26 年(2014 年)5 月に、「日本文化原論 真なる調和への道神からのブラボォー」を出版し令和 3 年 11 月(2021 年)に「日本文化原論 永続思想 主性学 真なる調和への道 七色の虹の架け橋」と題し概ね文化体系が整い人様に広くご案内を進めて良いものと考えました。祖父母や両親は既に他界しましたが縁起物作りの精神性は持続し今日に至ります。三世代の活動成果をご覧くださいますと幸いです。

氏名 文化活動家 横山俊一(よこやましゅんいち)



<ウェブ上の活動記録>

ワードプレス <https://syunichiyokoyama2013.wordpress.com/>

ツイッター https://twitter.com/bisui_nihon

フェイスブック <https://www.facebook.com/bisui.shobo/>

はてなブログ <http://bisuinihon.hatenablog.com/>

1) 日本文化原論 –執筆の軌跡

平成 23 年 12 月頃より令和 3 年 6 月に至る約 10 年の執筆活動です。

2011 年～2016 年

大項目	中項目	ページ数	価格	執筆日	発行日 発行所 ISBN
はじめに	入門編 バラエティー編	A5 55p A5 28p	0 円	2011. 12	978-4-9906416-0-3
真なる調和への道 シリーズ	I 生存と自由の拡大	A5 71p	480 円	2012. 2	2017. 3 美粋書房 978-9906416-1-0
	II 健全性	A5 93p	520 円	2012. 3	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-2-7
	III 人類の教科書	A5 245p	650 円	2012. 5	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-3-4
	☆取り纏め版	A5 43p	400 円	2012. 7	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-4-1
活動の研究 シリーズ	I 活動の研究	A5 138p	430 円	2012. 10	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-5-8
	II 活動の研究	A5 30p	320 円	2012. 11	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-6-5
	III 活動の研究	A5 41p	340 円	2012. 12	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-7-2
	☆活動学	A5 86p	480 円	2012. 9	2017. 3 美粋書房 978-4-9906416-8-9
日本文化原論 シリーズ	I 神からのブラボォー	文庫 311p	760 円		2014. 5 ブイツーツリビューション 978-4-434-18854-1
	II 七色の虹の架け橋				
	一編生産性の具象	A5 60p	380 円	2014. 5	2017. 3 美粋書房
	二編主体	A5 49p	380 円	2014. 6	2017. 3 美粋書房
	三編人間学の要諦	A5 75p	430 円	2014. 7	2017. 3 美粋書房
	四編集約編	A5 72p	470 円	2014. 8	2017. 3 美粋書房
	五編総論	A5 79p	480 円	2014. 9	2017. 3 美粋書房
	六編基礎	A5 57p	430 円	2014. 10	2017. 3 美粋書房
	七編活動観念	A5 49p	430 円	2014. 11	2017. 3 美粋書房
	八編主体性学	A5 56p	450 円	2014. 12	2017. 3 美粋書房
	九編生産原理	A5 35p	380 円	2015. 1	2017. 3 美粋書房
	十編動性概念	A5 50p	430 円	2015. 2	2017. 3 美粋書房
	十一編真理の探究	A5 69p	460 円	2015. 3	2017. 3 美粋書房
	III 洗練集約版	A5 80p	793 円		2017. 2 美粋書房
	IV 人類永続への方途	A5 40p	880 円		2017. 2 美粋書房
	V 永遠の動態という 静態原理	A5 168p	1145 円		2017. 3 美粋書房
目録	全著作の経過と体系	A5 44p	570 円		2017. 3 美粋書房

2017 年

大項目	中項目	ページ数	価格	執筆日	発行日 発行所 ISBN
Ⅵ 神からの太鼓判 シリーズ	全五編	A5p1-p748	1,680 円	2017. 7	
	一編はじめに	B6 p1-394p			
	二編 集約 思想	p395-p487			
	三編 総論 1	p488-p553			
	四編 総論 2	p554-p626			
	五編 総論と各論	p627-p748			
Ⅶ 永続思想と文化 政策シリーズ	全五編	B6 p1-p798		2017. 8	
	一編	B6 p1-p226			
	二編	p227-p338			
	三編	p339-p491			
	四編	p492-p617			
	五編	p618-p798			
講義版 (全七編)	全七編	p1-p797		2017. 11. 3	
	集約編	p1-p98			
	一編	p99-p191			
	二編	p192-p261			
	三編	p262-p420			
	四編	p421-p466			
	五編	p467-p561			
	六編	p562-p789			

2018 年

主体性学		全七編		2018. 1	
文化政策		全十編	A5p1-P803	2018. 3	
		要旨	A5p1-P31	2018. 5	
真の平等と永続の 実現へ向け		全十一編	A5p1-p366	2018. 6. 23	
真なる調和への道		全五編	A5p1-p554	2018. 8. 18	

2019 年

主体性学 9 編				2019. 1. 15	
日本文化原論 3 編				2019. 2. 7	
永続思想 12 編				2019. 3. 24	
永続思想 2 部				2019. 4. 9	
永続思想 13 部				2019. 5. 25	
永続思想 9 部				2019. 7. 15	
主体性学 10 部				2019. 8. 9	
主体性学 5 部				2019. 8. 29	
主体性学全四巻				2019. 8. 29	

2020 年

日本文化原論永続思想		A5 358p	2020. 1. 13	
日本文化原論永続思想		A5 185p	2020. 2. 11	
日本文化原論永続思想		A5 1086P	2020. 10. 7	
日本文化原論永続思想		A5 379p	2020. 12. 24	

2021 年

日本文化原論永続思想		A5 798p	2021. 4. 19	
日本文化原論永続思想		A5 525p	2021. 5. 21	
日本文化原論 永続思想 主体性学 真なる調和への道 七色の虹の架け橋	纏め 一部	A5 127p A5 163p	2021. 7. 1	
	二部	A5 260p	2021. 7. 1	